

<p>【学校教育目標】「生きる力」を有する児童の育成 (自ら学び、思いやりがある、たくましい子ども)</p>	<p>【本年度の重点目標】 ○「書く(かく)こと」を各教科に応用・転移し、確かな学力の向上を図る。</p>
--	---

【4-大変よい 3-よい 2-努力を要す 1-すぐに改善】

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策	
学校目標達成度		<p>・「学校が楽しい」と思う児童を90%以上目指す。(学期1回学校生活アンケート)</p> <p>・各教科の中で、自分の考えを「書く(かく)」時間を確保できるようにする。</p> <p>・学期に1回「家庭学習振り返り週間」を設定し、保護者啓発に努める。</p> <p>(結果)</p> <p>○「学校が楽しい」と思うと回答した児童は94%であった。</p> <p>○算数科を中心とした主題研修を進め、「書く」活動を充実させることができてきた。</p> <p>●家庭学習時間の達成児童76%であった。</p>	2.8	<p>*学校が落ち着いてきている。</p> <p>*あいさつがよくなった。</p>	◇児童の実態分析から課題を整理し、来年度の重点課題を設定する。
	総合所見	常に、「学校が楽しい」児童100%をめざすとともに、「生きる力」有するためにも、基盤としての家庭力を高める必要がある。			
学校運営		<p>・「チーム上小」の意識をもって、協働体制(分担・協働)と改廃に努める。</p> <p>(結果)</p> <p>○各部・各係が組織的に計画・実践・評価・改善を行い、学期末反省の中で全体での共通理解ができた。次年度に向けて「年間実績」を作成した。組織のスリム化も実働可能。</p>	3.4	*妥当である。	◇年間実績をもとに、各部各係が見直しをもって動くようにする。
	総合所見	組織として学校運営を行っていきけるよう、実績をもとにしたPDCAサイクルを確実に実行していく。			
教育課題(重点目標)	学力向上	<p>【分かる授業づくり】</p> <p>・授業アンケート「勉強がよく分かる。」児童95%を目指す。</p> <p>毎学期、学習規律の定着(学習の準備、聞く姿勢)について、評価・改善を行う。</p> <p>【基礎学力の定着】</p> <p>・3月実施予定のNRTで国語50、算数50を目指す。</p> <p>・アンダーアチーバー10%以下を目指す。</p> <p>【家庭学習の充実】</p> <p>・家庭学習時間(10分×学年+10分)80%以上</p> <p>(結果)</p> <p>○「先生の授業が分かる・楽しい」児童が94.7%。</p> <p>○算数の主題研修や基礎学力をつける取組は、課題を全体で共有し改善をしている。</p> <p>○家庭学習の時間は少しずつ意識の改善が見られている。該当学年の家庭学習時間達成率は2学期76%(1学期との比+33%)</p> <p>●自ら考える力と基礎学力の関連を探り、来年度の方向性を考える。</p> <p>●評価の低い児童に個別に対応する。</p> <p>●家庭学習時間が達成できていない児童への手立てなど、まだまだ努力が必要。</p> <p>●自学の内容の充実を目指す。</p>	2.6	<p>【3.1】</p> <p>*予習復習の家庭学習の習慣化を。</p> <p>*子ども達が家庭できちんと宿題をするようになった。</p> <p>*評価の低い子ども達に、先生方の支援が見られた。</p>	◇「学力向上係」 家庭学習についての取組を充実させる。各学年の家庭学習の内容の系統性をもとに、質の向上を図るようにする。
	体力向上	<p>【運動習慣作り】</p> <p>・コーディネーショントレーニングを各学級、学期に1回以上の取組 100%</p> <p>【体力向上の取組】</p> <p>・「ドッジボール・大縄・マラソン」に目標をもって取り組む。(学期に1回)</p> <p>(結果)</p> <p>○体力アップウイークの取組によって運動するきっかけとなった。</p> <p>○体力テストで課題のある動きに取り組んだことにより体力向上につながった。</p> <p>○学級での意欲的な態度、あきらめない姿勢、協力する大切さが身に付いた。</p> <p>●学年によって取り組みにくい内容もあった。</p> <p>●日常の休み時間は教室にいる児童が多い。</p>	3.1	<p>【3.3】</p> <p>*できるだけ徒歩通学を推奨。</p> <p>*外遊びが少ない。</p> <p>*運動会を通して、体力向上の効果が見られた。</p>	◇「体育推進係」 本年度同様、各学期に全校で取り組むことができる運動を取り入れる。
	心の教育	<p>【道徳教育の充実】</p> <p>・11月授業参観において道徳の授業を公開する。</p> <p>・道徳教育推進教師による提案授業を実施し、職員研修を行う。</p> <p>【いじめ事案への対応】</p> <p>・「学校生活アンケート」の毎月実施による対応。※学校いじめ防止基本方針の周知</p> <p>(結果)</p> <p>○道徳教育係が参観授業を行い協議したことでねらいや評価方法などの共有化ができた。</p> <p>●「学校生活アンケート」が担当係だけの把握になり、全体に提示できていなかった。</p>	2.8	<p>【3.0】</p> <p>*「上小十カ条」を徹底。</p> <p>*ゲームばかりをしているので、道徳教育は大切。</p>	◇「PTA 総務研修委員会」 新家庭教育宣言の取組をPTAと協力して行う。 ◇「集団力向上係」 上小十カ条の徹底に向けて児童会活動の一環として取組を行う。 ◇「道徳推進係」 職員研修を行い、道徳教育の充実を図る。 ◇「情報係」 情報モラル教育を充実させる。
	規範意識	<p>【学習規律の徹底】</p> <p>・「児童用授業アンケート」における関係項目において達成率 80%以上</p> <p>【「上小十カ条」の遵守】</p> <p>・「上小十カ条の中にある「友達を大切に」を本年度の重点目標とし、そのための具体的な取組を児童会が中心となって行う。</p> <p>(結果)</p> <p>○授業アンケートでは成果は上がってきた。80%達成が多い。</p> <p>○「上小十カ条」重点目標：1:「友達を大切に」2:「時間を守る」3:「必要のない物は持ってこない。」では委員会や学級独自の取組を定着させた。</p> <p>●授業準備や聞く姿勢については達成できていない。校内統一した声かけを行う。</p>	2.6	<p>【3.3】</p> <p>*「友達を大切に」が定着していると子ども達の会話の中で少し感じる。</p> <p>*学校と家庭の連携を密に。</p> <p>*朝食を食べるように。</p> <p>*コーディネーショントレーニングは「聞く」姿勢にも効果があると聞いている。取組を進めてほしい。</p>	◇「集団力向上係」 上小十カ条の徹底に向けて児童会活動の一環として取組を行う。
不登校解消		<p>【保護者や関係機関との連携】</p> <p>・家庭への電話連絡や家庭訪問を行い、保護者と連携する。</p> <p>・接続校、子育て支援課、れすとびあ等、個の実態に合わせた関係機関と連携を取り合う。</p> <p>【集団づくり】</p> <p>・平和・人権・歌声集会等の行事参加をうながしながら、登校刺激を与える。(魅力ある教育課程の創造)</p> <p>(結果)</p> <p>○保護者やれすとびあ、SC等関係機関との連携、生徒指導委員会での情報共有はできた。</p> <p>●配慮のいる児童の個別支援計画、指導計画の情報共有があまりできていない。</p>	2.7	<p>【3.2】</p> <p>*校区内の清掃活動から学ぶことが多いのでは。山田クリーン作戦に参加を。</p>	◇「校内環境推進係」 クリーンアップ作戦(校区内清掃活動)を継続していく。
	総合所見	学力向上を図るためにも、不登校(兆候を含む)解消に力点を置く。そのために、「わかる授業」や「居場所作り」、「心の教育」等の充実は不可欠である。			
教育環境		<p>【清掃活動の徹底】</p> <p>・児童と教師がともに清掃活動に励む。</p> <p>【校内の掲示物】</p> <p>・担当教師を中心に計画的校内掲示を目指す。</p> <p>【地域教材の活用】</p> <p>・総合的な学習で地域の教材を取り入れ、ふるさとを愛する心を育む。</p> <p>(結果)</p> <p>○清掃の取り組みや定期的な校内掲示物の張替はできた。</p> <p>○地域に関わる人との交流ができた。</p> <p>●学期ごとの情報モラル教育の内容を検討する。</p>	2.8	<p>【3.3】</p> <p>*地域とのふれあいをよくされていると思う。</p> <p>*校内(敷地内)の清掃を、地域の方にしてもらうというのはどうだろうか。</p> <p>*校内がよく清掃されている。</p> <p>*地域(公民館)の活動と学校の活動の結びつきを拡大してほしい。</p>	◇「キャリア教育係」 地域教材を活用した学習を継続して行うとともに、教材の見直しを行う。
	総合所見	今後も、郷土愛を育むために、体験的な活動や人との出会いを通して、地域のよさを実感できる学習を進めていく。			